

# 大学における クラウドファンディング

セッションオーガナイザー

白井 哲哉（京都大学）

中川喜博（徳島大学）

# “オープンサイエンス” といった言葉が 使われる文脈

IT技術により  
アクセスが容易に

Crowd  
Funding

Crowd  
Sourcing

Open  
Peer Review

アカデミズムを  
社会に開く

Open  
Access / data

PUS

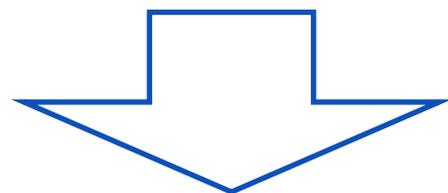
RRI

Public  
Engagement

## 大学からみたクラウド・ファンディング（CF）

---

- 新たな財源の獲得
- 萌芽的/学際的研究の推進
- 研究活動を社会に発信

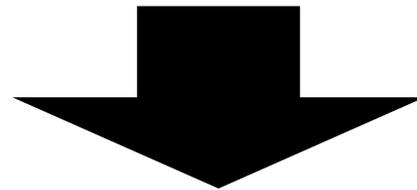


大学にとっても CFを推進するメリットがある  
一方で、**CFに取り組むための体制整備が必要**

## 本セッションの趣旨

---

クラウドファンディングを実施する上で  
どのような問題に直面してきたか、  
各大学の経験や知識を、  
今後、挑戦しようとする大学担当者と共有する



解決策を全体で議論することを通じて  
クラウドファンディングの  
裾野を広げたい

- (1) 大学が、自らクラウドファンディングのプラットフォームを築く事例

**佐野 正孝 (徳島大学)**

- (2) 大学/組織が、外部のクラウドファンディングを用いる事例

**松野 渉 (筑波大学)**

- (3) 研究者個人が、外部のクラウドファンディングを用いる事例

**白井 哲哉 (京都大学)**